岡山県知事　石井正弘　様

2009年2月3日
日本共産党岡山県議会議員団
団長　　武田英夫

「派遣切り」労働者の住居の確保に関する再度の申し入れ

「派遣切り」などで住居を失った労働者に対して風呂付の県営住宅の提供などに尽力されていることに対して、敬意を表します。

しかし先日、厚生労働省が発表した「昨年10月から今年3月までに12万4802人が失職ないしは失職見通し」という恐るべきデータは、事態が今後予想し難い深刻さで進むことを示しています。

こうした中、政治も行政も「これまでのテンポと規模」を上回る対策を講じることが求められています。とりわけ、「住宅の確保」は緊急不可欠の課題です。

その点で、1月補正で組んだ20戸にとどまらず、県としても必要な対策を講じることが求められています。

そこで、次の点を緊急に求めるものです。

記

1. 現在の20戸の計画の整備のテンポを上げること。
2. 県下の失業数の状況を踏まえて「3月末までにいくら必要なのか」を国と協議して予測を立て、その必要戸数の整備のため県としても新たな整備計画をたてること。
3. そのための追加の補正予算を組むこと。

以上